

エラー表示

● オートコンタクトエラー

超音波プローブが治療部位から10秒以上離れると出力が停止し、表示されます。(本体の出力LEDが消灯します。)超音波プローブを治療部位にしっかりと装着してください。また、治療用ゲルの不足なども考えられますので、その場合は、プローブヘッドに治療用ゲルを付け足してください。

※「Auto Contact Error」をタッチすると、一時停止の状態になります。治療を再開する場合は、START/PAUSEボタンをタッチします。



● プローブエラー

超音波プローブが本体から外れると出力が停止し、表示されます。超音波プローブを本体にしっかりと接続してください。超音波プローブが接続されていてもプローブエラーが表示される場合は、内部配線の断線などが考えられますので、超音波プローブを交換してください。



使用手順動画

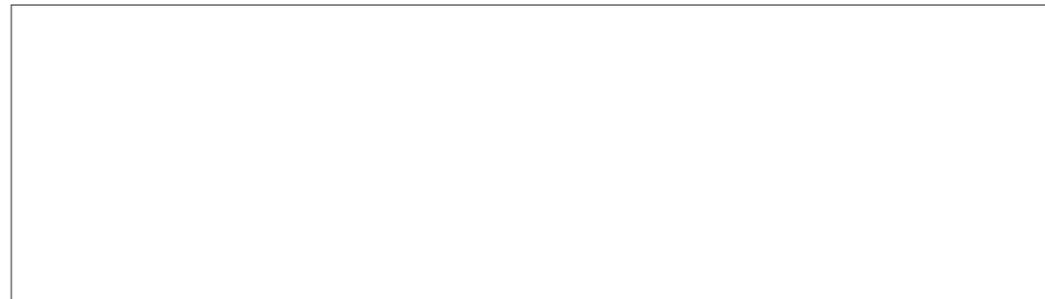
必ず医療従事者の指示・指導のもとに、商品の特性を十分に理解してから正しく装着ください。



ページURL

<https://www.alcare.co.jp/user/how-to-use/osteotron/>

販売店連絡先



ALCARE

アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825
www.alcare.co.jp

- 本カタログの内容は2022年11月現在のものです。
- 商品の仕様、デザインおよび価格は、改良や経済状況の変動などにより予告なく変更することがあります。
- 本カタログに掲載の写真は、実際の色とは多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863** 土・日・祝日を除く
午前9:00～午後5:00

製造販売業者：

伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町 3-1-8 TEL.048-254-1012



この印刷物は、EPAのシールに基づき製造した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
EPA: 環境保護印刷推進協議会
<http://www.eppa.com>

超音波骨折治療器 オステオトロンV 使用者向け説明書

管理医療機器 医療機器認証番号 225AABZX00101000 特定保守管理医療機器 (クラスII)

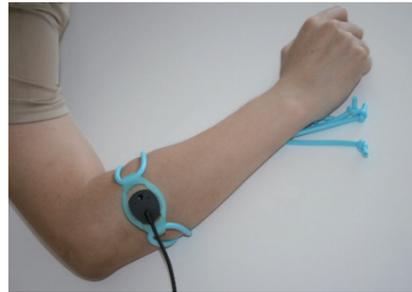
超音波骨折治療器とは

低出力パルス超音波(LIPUS)の音圧効果により、骨折部位の骨の形成を促進し、骨癒合期間を約40%短縮するものです。

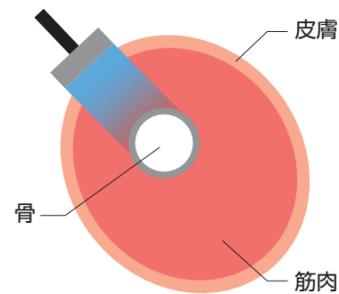
【製品】



【治療例】



【超音波照射イメージ】



使用上の注意

【禁忌・禁止】

次のような患者及び部位へは、使用しないでください。

- ・ペースメーカーなどの特定の植込み形の電子装置を装着している患者
- ・阻血組織
- ・原因不明の急性(疼痛性)疾患の患者
- ・心臓に障害がある患者
- ・悪性腫瘍のある患者
- ・出血性素因の高い患者
- ・皮膚の損傷、炎症部位
- ・伝染性疾患患者
- ・頸動脈洞上
- ・椎弓切除術後の患者及び脊椎破裂患者の脊髄への照射
- ・その他、医師が不相当と認めた患者

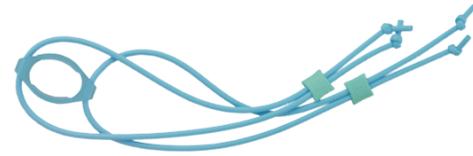
【併用禁忌】

- ・心電計などの装着型医用電気機器との併用は、しないでください。
- ・他の機器との併用はしないでください。

医師の指導に従って、正しくご使用下さい

治療の準備

【固定具 D²使用】



※超音波プローブ〈M・1.5MHz・平型〉に対応

- 1 プローブヘッドに治療用ゲルをつけます。



- 2 超音波プローブを固定具(D²)にはめ込みます。

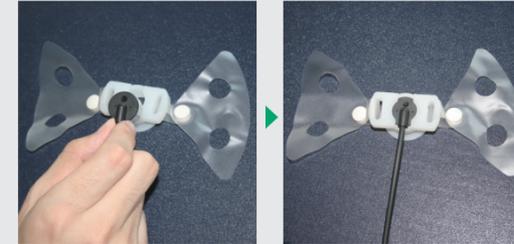


【固定具〈ハネ付〉使用】



※超音波プローブ〈S・1.5MHz・平型〉に対応

- 1 固定具〈ハネ付〉に超音波プローブをはめ込みます。



- 2 固定具〈ハネ付〉の穴の部分に仮固定用のサージカルテープを貼ります。



- 3 プローブヘッドに治療用ゲルをつけます。



重要
治療部位とプローブヘッドに隙間ができないように治療用ゲルを充填してください。



治療準備完了

治療設定

- 1 POWER/STOPスイッチを長押し(約1秒)して電源を入れます。



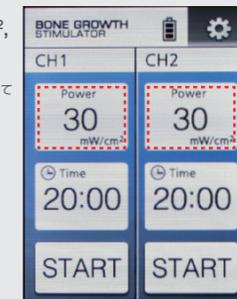
本体が起動し、イニシャルチェック画面が表示されます。イニシャルチェック終了後、自動的に治療パラメータ設定画面になります。

- 2 出力を設定します。

出力設定ボタンをタッチして、超音波の出力値を設定します。

【30mW/cm²、45mW/cm²、60mW/cm²】

※出力単位をmW/cm²(SATA)に設定している場合。



- 3 タイマー設定をします。

タイマー設定ボタンをタッチして、治療時間を設定します。

【10分、20分、30分】



- 4 出力を開始します。

START/PAUSEボタンをタッチして出力を開始します。出力中は本体の出力LEDが点灯し、プザー音設定をONに設定している場合は、プザー音が鳴ります。

※超音波プローブ未接続時は、START/PAUSEボタンの操作は行えません。
※出力中は出力設定、タイマー設定の変更及び初期設定画面への切り替えはできません。



- 5 タイマーが「00:00」になると終了音が鳴り、治療が終了します。

POWER/STOPスイッチを長押し(約2秒)して電源をOFFにしてください。

※出力されていない時に、電源を入れたまま操作がない状態が約3分経過すると、自動的に電源がOFFになります。

- 6 電源がOFFになっていることを確認し、治療部位から超音波プローブ及び固定具を外し、プローブヘッドについている治療用ゲルを拭き取ります。

治療用ゲルパッド(別売オプション品)をご使用の場合は、プローブヘッドから治療用ゲルパッドを外します。

※固定具(D²)の取り外しは、超音波プローブを外してから行ってください。超音波プローブを装着したまま固定具(D²)を外すと、超音波プローブが落下する恐れがあります。

- 7 超音波プローブを本体から取り外します。

ACアダプタをご使用の場合は、本体とコンセントからACアダプタと電源コードを抜いてください。

※本体、付属品などは、次回の使用に支障がないように洗浄し、整理保管してください。
※固定具は水洗いできます。
※長期間使用しない場合は、充電電池を本体から取り外してください。

治療終了